

3月10日 全校朝会 2年生「ねぎパーティー」

2月26日(水)に2年生は、ねぎの収穫をしました。今日は、そのことについてお話します。

2年生は、4月の種まきから始まって、1年間、玄関前にある葱善さんの田中さんにご指導いただいて、ねぎを育ててきました。そのねぎの収穫についてのお話です。

2年生は、1人1株、ネギを抜きました。太いねぎ、細いねぎ、大きいねぎ、小さいねぎと色々でしたが、どれもとても良い感触で、みんな楽しそうでした。

その日は、収穫して終わりではなく、ねぎについて学習してきたことの発表会も行いました。学習したことを「ネギクイズ」にして、一緒に考えました。葱善の田中さんからもお話ししていただきました。

2年生が学習発表会をしている間、保護者の方々にお願いして、採れたてのねぎを調理していただきました。そして、そのねぎをみんなでいただく「ねぎパーティー」が始まります。大切に育ててきた、採れたてのねぎを、子供、保護者、そして葱善の皆様と一緒に、おいしくいただきました。

さて、今回いただいたねぎですが、「江戸千住葱」というブランドのねぎです。葱善さんが栽培を復活させた、江戸・東京に昔から伝わる品種です。江戸千住葱は、「固定種」と言われる品種で、親、子、孫と代々変わらず固定されてきた品種です。ですから、昔からの味わいがそのまま今に伝わる良さがありますが、長さや太さもバラバラに成長するという特徴があります。今回収穫したときに、細いねぎを手にとった子が、少し悲しそうな顔をしていましたが、それも、江戸千住葱ならではのことだったのです。

一方で、2つの品種をかけ合わせた種からつくるのを「F1種」と言います。大きさがそろい、大きく育てやすいので、たくさんのねぎを作り、出荷することができます。お店で手軽に買えるのも、「F1種」を開発したおかげと言えます。

「固定種」の江戸千住葱と、かけ合わせた「F1種」ですが、それぞれに良さがあるので、どちらが良いとは言えません。ですが、千束小学校では、親、子、孫と代々おいしさが変わらず育つ江戸千住葱を育て、その品種と命をつなげています。



1年生は、2年生になると、同じく、江戸千住葱をつなげ、伝える人になります。2年生になるのが楽しみですね。



千束小学校でも、代々、江戸千住葱の命をつなげています。